

MASCOT Version 1.0

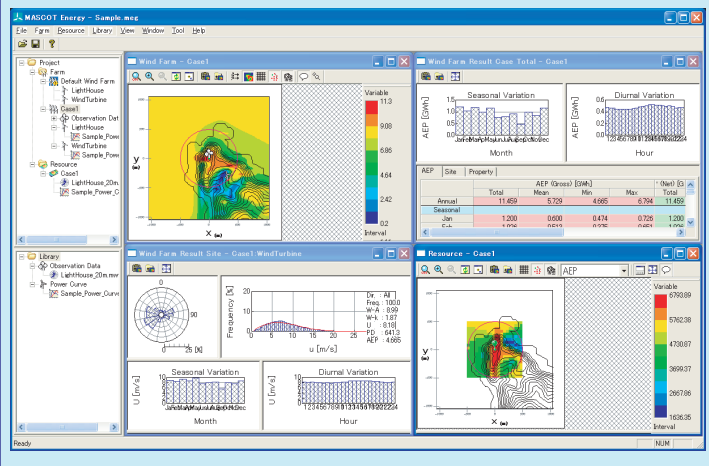
Microclimate Analysis System for COmplex Terrain.

MASCOT version1.0は新開発のMASCOT Energy（発電量予測モジュール）とMASCOT Basic（3次元気流解析モジュール）をセットにしたバージョンです。

MASCOT Energyはウェークロスを考慮した風力発電量予測や年間発電量のマップを作成可能です。また、全国気象官署風況データベースにより経年変化補正が可能です。

使い易いGUIによる解析条件設定とケース管理

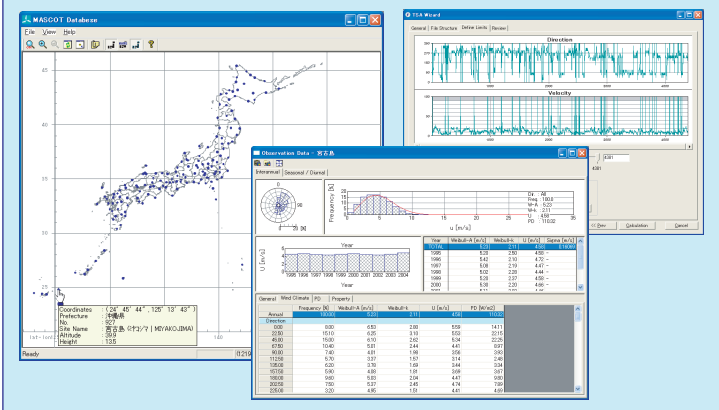
MASCOT Ver. 1.0は、風力発電施設建設に伴う発電量予測および適地選定の業務を支援するため、使い易さを追求したインターフェースを提供していますので、製品知識が無くても直感的に操作することができ、複数の解析ケースをツリーバーのみで管理することが可能です。また、製品マニュアルについても、チュートリアル・操作ガイド・解析理論まで幅広く提供しています。



便利なツール群による解析の強力なサポート

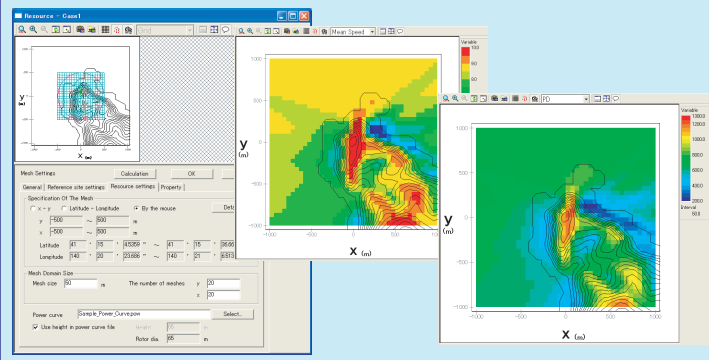
・全国気象官署風況データベース
全国気象官署155地点における、過去10年間における風況観測結果の統計解析値のデータベースの実装し、経年変化の補正が可能です。

・TSA Wizardによる時系列データ解析
TSA Wizardは、時系列に記録された風況観測データを解析するツールで、年間・月別・時間別解析を行うことが可能です。また、解析前後にデータを可視化するツールを備えています。



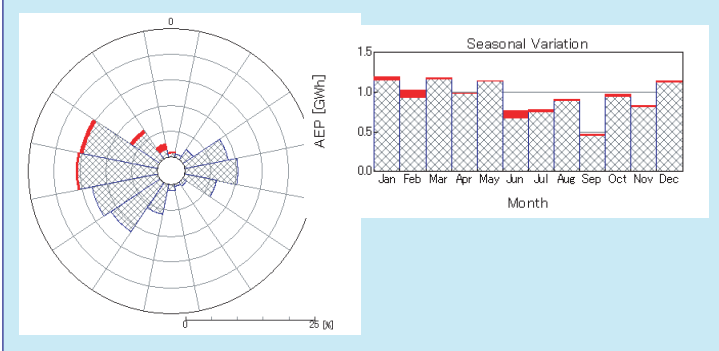
リソースグリッド機能によるマップの作成

解析範囲等簡単な設定のみで、年平均風速・風力エネルギー密度・年間発電量などのマップを作成することができます。また、解析結果はテキストファイルとして抽出することが可能なので、普段使用している可視化ツールで作図することも可能です。



ウェークロスを考慮した風力発電量予測

発電量は風速の3乗に比例するため、ウィンドファームでの風力発電量予測には欠かすことのできないウェークロスを考慮することが可能です。本バージョンでは、Katicらによるウェーク予測モデルを採用し、ウィンドファーム全体や風車毎のウェークロスを求めます。



・MASCOT version1.0

新たに開発したMASCOT Energy（発電量予測モジュール）とMASCOT Basicをセットにしたバージョンです。既にMASCOT Basicをお使いのお客様用に、MASCOT version1.0 アップグレード版をご用意しています。

・MASCOT Basic

MASCOT version1.0の簡易版です。ウェークロスの考慮やマップの作成機能は実装されていませんが、CUIによる任意地点の発電量予測が可能です。

MASCOTの詳細は <http://www.aquanet21.co.jp>



株式会社 水域ネットワーク 〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6-8-10 朝日生命西葛西ビル6F
電話:03-5667-6888 FAX:03-5667-6889

本プログラム【高度な風況予測プログラム(MASCOT)および関連データベース】は、『東京大学橋梁研究室』の研究成果によるものです。